

オンライン 吟詠活動のすすめ

2020年6月15日 vir.1





目次

- 1、新型コロナ事態で支障を来した活動
- 2、オンラインに移行できるかもしれない活動
- 3、オンラインでできることとできないこと
- 4、実際にできる吟詠活動
 - ①オンライン教室
 - ②オンライン発表会
 - ③オンライン研修会
 - ④オンラインコンクール
- 5．費用徴収方法
- 6．まとめ オンラインの吟詠諸活動の運用



最初に

- ▶ 自粛期間中に実験的にやってみたオンライン吟詠活動についてまとめました。
- ▶ 必要に応じてこの資料をプリントアウトして皆さんの吟友や、指導者の先生に見ていただければ幸いです。
- ▶ 自粛は終わりましたが、今年のコンクールや発表会は全て中止になり、吟界は未曾有の危機に瀕していると言っても過言ではありませんが、私たちの詩吟への愛情は不滅ですので、一緒に吟界を当面はオンラインで盛り上げていきましょう。



1、新型コロナ事態で支障を来したこと

- ①小規模～ 詩吟教室が「密を作らない」ために開催できない。
- ②中規模～ 研修会が「密を作らない」ために開催できない。
- ③大規模～ コンクールが「密を作らない」ために開催できない。
- ④感染リスクがあるので、教室や会場に通えない。
- ⑤なによりも精神的に不安で外に出られない。家族も反対する。
- ⑥好きな詩吟仲間と会えない。嫌いな詩吟仲間と会わないで済む (...冗談です)



2、オンラインに移行できるかもしれない活動

- ①オンライン詩吟教室 移行出来る部分と出来ない部分がある
- ②オンライン発表会 移行出来る部分と出来ない部分がある
- ③オンライン研修会 移行出来る部分と出来ない部分がある
- ④オンラインコンクール 現状のツールでは出来ない

移行できると...

- 移動がなくなる。感染リスクがない。不安がなくなる。家族も心配ない。
- 会場費がいらない、諸経費お幅に削減できる。
- 大好きな先生や吟友の顔が見れて、一緒にお話しできる。



3、オンラインでできることとできないこと

①できること

■座学はできる

先生のお話を聞く、先生に質問する、資料（詩文や画像）を見せる。

■録画であれば発表はできる

YOUTUBEを利用して動画を作れば、舞台と遜色のない吟詠発表はできる。

②できないこと

■リアルタイムの実技は難しい

吟ずることはできるが、音質が悪い、遅延があるのでストレスが多い。

■2人が同時に音を出しにくい

合吟や、伴奏と一緒に吟ずることが難しい

4、実際にできる吟詠活動

①オンライン教室



- ・ZOOM等のオンライン会議ツールを使う。

他にもツールはたくさんありますが、自粛期間中に飛躍的にZOOM使用者が増えて、吟界でも経験者が増えました。

<教室内容>

・先生のご講義や、生徒さんたちとの質疑応答は、問題なくできる。

・**ひとりずつ吟ずる**。口の動きや態度は見て取れる。音質が悪いものの吟自体への指導はできる。

・ご自宅等では**大きな声では詠えない**ことも多いので、配慮は必要。





4、実際にできる吟詠活動

①オンライン教室

<ZOOM+YOUTUBEで実技指導>

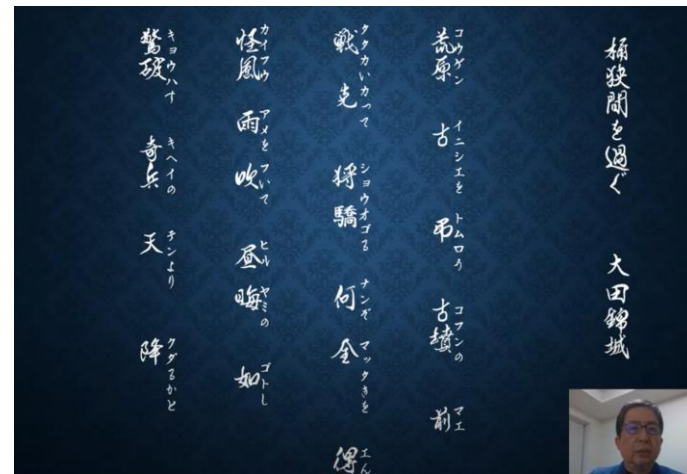
- ・スマホで録画した吟をyoutubeに上げて、指導者が聞く。上げられない方は上げられる人にline等で映像を送る。

- ・youtubeでは、一般公開ではなく**限定公開**を選択すれば、他人には見られない。教室だけで運用できる。

※できれば教室や流派毎にyoutubeチャンネルを用意すると運用しやすい。

- ・教室ではzoomの**共有機能**を使えば、一人ずつの吟をyoutubeでみんなで見ながら稽古を進行することができる。

事例<1> 吟詠1実技指導



POWERPOINTのビデオ機能を使用した実技指導



4、実際にできる吟詠活動

②オンライン発表会

－ 1. 録画による発表会

<youtubeを使用した発表会>

事例<2>：おうちで吟剣詩舞

YOUTUBEを使用して、少し編集すれば発表会ができます。

<方法>

- ・吟を録画する。
- ・吟に合わせて伴奏を録画する
- ・吟と伴奏を編集合体させて、これを聴きながら舞を録画する
- ・全てを合体させて、タイトルや詩文、エフェクト等を入れて、YOUTUBEで公開する。
- ・構成吟であれば、ナレーションを入れる。
- ・クロマキー合成すれば、さらに舞台セットと同様の演出が可能。



おうちで吟剣詩舞 ①7山行
(吟：荒崎紫春、柳生吟川、...
チャンネルGINRYO



おうちで吟剣詩舞 ①6山のあなた
(吟：海老澤宏升、舞：粉...
チャンネルGINRYO



おうちで吟剣詩舞 ①5桜祠に遊ぶ
(吟：宮本紫華、舞：鶴...
チャンネルGINRYO



おうちで吟剣詩舞 ①4母を奉じて嵐山に遊ぶ
(吟：荒崎紫有...
チャンネルGINRYO



おうちで吟剣詩舞 ①3組曲：静御前
吟：恵聖
チャンネルGINRYO

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLxLu4jOHTsEzmUiTWLDBieYWpwxt2PH6X>

4、実際にできる吟詠活動 ②オンライン発表会



－ 2. ライブと録画による発表会 ＜LINE+youtubeを使用した発表会＞

事例<3>：吟亮流50周年LINE大会

- ・ 予め、出吟者と聴講者の**lineグループ**を作成。
- ・ **司会と聴講はLINE**を起点として進行。
- ・ **演目はYOUTUBE限定公開**しておき、司会の紹介で、聴講者はそのURLに行ってもらう。

それでは、開演時間になりましたので始めたいと思います。
司会の鈴木吟亮です^^
よろしくお願いいたします。

まず最初に開会のことばを三橋吟健さんにお願いします。
↓を指で押してください。

開会のことば
00:48

保存 | 名前を付けて保存 | 転送 | Keep

続きまして、初代宗家、二代宗家および物故者に対して黙祷をお願いいたします。
↓を指で押してください。



続きまして、吟風即事。伴奏は河野先生に3本をお願いいたします。
先導は私、宗家。風雪まで先導が詠い、「五十年～」から詠ってください。
「ご・じゅ・う」は「三・七・六」でお願いします。
↓の英字のところを指で押してください。
終わったら、LINEに戻って来てください。

<https://www.youtube.com/watch?v=cP076a9Axo8>

吟風即事

リンクを開くにはこちらをタップ

余が志 固に
一以て貫く





4、実際にできる吟詠活動

③オンライン研修会

- ・教室と同様にZOOM等のオンライン会議ツールを使う。

※zoomは、月額2000円台のコースを指導者ないし事務局のみが入れば、時間無制限で100名までいつでも使用できる。聴講者は一切無料。

事例< 4 >：河野塾 5月29日開催atZOOM

- ・ Web、SNSで告知募集。
- ・ 待機室に参加者が来たら、参加者リストを確認する。

※待機室機能は、不正で入ってくる人を排除するためにあります。

- ・ 講義中は、音声オフ、質問時のみ音声オン、映像（ご自分の顔が映る）もオフ、講義後にオンにして交流を図る。
- ・ 共有機能を使用してパワーポイント等で作った講義テキストを表示しながら講義を行う。

河野塾

河野正明先生の吟詠講座

第一回 吟詠コンクール入選のための 7つの秘策

河野塾、はじめます。

コロナ事態で、なかなか会場に集まってるの研修会ができませんので、オンライン会議ツールのZOOMを使用して、河野正明先生の講演会「河野塾」を開講いたします。

来年のコンクールに向けて入賞を目指してる方や、少しでも上位に行きたい方にも、大変ためになる講演になると思いますので、是非、ご参加ください。

なにせ…無料ですから…。

実施概要

日時：令和2年5月29日（金）午後6時

※概ね1時間程度の講演の予定です。

講師：河野正明（尺八演奏家）

会場：ZOOM

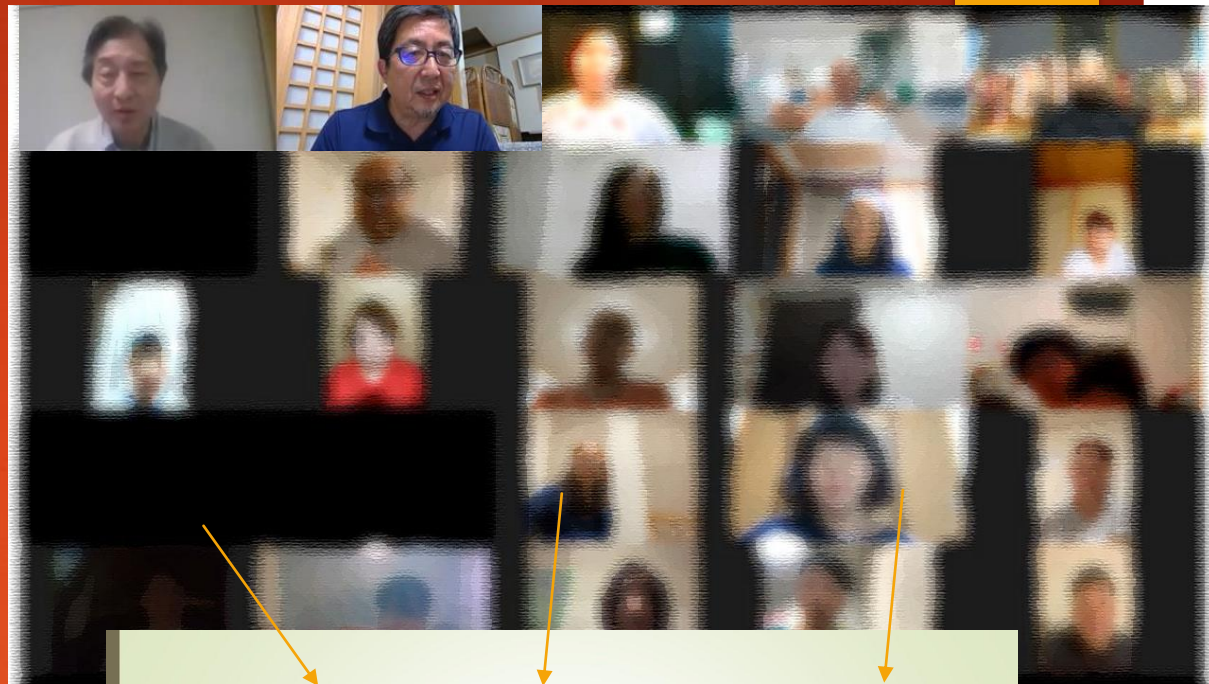
参加資格：
コンクール入賞を目指す方ならどなたでも。

募集人数：申込先着30名

※定員になりましたら、このサイト上でお知らせいたします。

参加費：無料

運営：河野塾準備委員会(世話役：鈴木吟亮)



吟詠コンクールで入賞するために

★ 七つの提言

みんなで先生の講義を聴きながら
スライドを見れます。



4、実際にできる吟詠活動

④オンラインコンクール

- ・コンクールは、個々の参加者の通信環境によって、同質な音声担保できないので、平等な評価が現状ではできない。
- ・近い将来（5Gの普及、同時音声）は、解決すると思われる。
- ・観客の必要性がないので、参加者と審査委員のみで進行可能。
- ・オンラインで行う必要性は教室や大会に比べれば少ない。



5、費用徴収方法

オンラインでの活動ですので、オンラインでの決済を利用して、月謝、出吟料、等の徴収負担を軽減し、簡単にクリアな会計処理を目指しましょう。

－ 1、モバイル決済

LINEペイやPAYPAYを使用、QRコードを発行する等で運用。

－ 2、EC決済

教室長、研修会主催者等が、AMAZONやSTORESに出店して、それぞれ「〇〇教室」「〇〇研修会」といった店を出す。

その店で、「体験稽古」、「月謝」、「聴講料」等の「商品」を売る。

参加者は、希望商品（稽古等）をカートに入れて決済する。



6. まとめ オンラインの吟詠諸活動の運用

①オフライン（通常）活動の補完として活用する

- ・オンラインでは「音質が悪い」「同時に詠えない」等、できないことが多いが、教室で行った指導の補完的に、個別相談を受けたり、するのに使うことは可能。

②オフラインにはない利点を生かしたオンライン独自展開を行う。

- ・オンラインは地域性がないので、広域からの参加募集が可能。
- ・遠くに引っ越した元会員や、新たに詩吟を習いたいがその地域に教室がない場合にはオンラインで指導することも可能。

③オンラインアーカイブを作っておく。

- ・流派会派で蓄積している大会映像や音声を、YOUTUBEやSOUNDCLOUD(音声のみ)にアップしておく。
- ・詩文をwebサイトにアップしておく